

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和7年11月10日（月）実施 文化財パトロール（1日目）
地蔵菩薩立像版木・横手古墳群・横手廃寺跡

○ねらい

文化財の管理状況等を把握し、文化財の保護に関する指導及び助言をし、文化財の保護に努める。

○参加者

相双地区文化財保護指導員1名、南相馬市教育委員会文化財課職員2名、教育事務所社会教育主事1名

【今回使用した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】

地蔵菩薩立像版木（南相馬市鹿島区）



地蔵菩薩が右手に錫杖（しゃくじょう）、左手に宝珠（ほうじゅ）をもち、両足は二つの蓮台に立って、西方浄土から来迎する様を表現しています。貞治七年（1368年）の刻名が記されています。父母の冥福のため、板木を奉納した趣意が明らかにされています。当日は版木をもとに印刷した物も見せていただきました。また、版木は享保15年（1736年）に作られた専用の厨子に仕舞われており、保存状態もしっかりしていました。大切な文化財を守っていく気持ちが、650年以上受け継がれております。

この版木は、2011年の東日本大震災での大津波が到達してしまったお宅に保存されていたのですが、難を逃れ、今に至っています。これからも南北朝時代の歴史を大切に伝えてくれることでしょう。（写真は版木を紙に刷ったものです）

横手古墳群（南相馬市鹿島区）

A群・B群の二群から構成されます。A群は、全長約30メートルの前方後円墳1基と直径15~20メートル程度の円墳14基で構成されています。B群は、浜通り地方最大の円墳である1号墳を含む4基の円墳で構成されています。古墳時代後期の群集墳としての特色をよく示しています。A群の前方後円墳は国道工事の影響で部分的に残されているだけとなっていましたが、円墳は状態よく残っており、車からも電車からもはっきりと分かります。B群の1号墳は直径約40mの大きな円墳で、周溝が良好に残っています。また、墳丘上に初發神社（しょはつじんじゃ）の社殿が建てられています。私有地もありますので、見学の場合は御注意ください。



横手廃寺跡（南相馬市鹿島区）



遺跡の周辺より、多くの布目瓦が出土すること、円形造り出しのある礎石を始め、多数の礎石が存在することから、平安時代の寺院跡と推定され、県史跡に指定されています。発掘調査では、礎石建物跡が寺院の塔跡であることが確かめられ、その規模が明らかになったほか、基壇が木製の基壇外装施設を伴うことが確認されています。当日は礎石や布目瓦を実際に見ることができました。平安時代に使われていた礎石や瓦を見ていると、当時の栄えていた様子が目に浮かぶようです。横手廃寺跡は個人宅となっており、見学するには所有者様の承諾を得ることになります。（写真は礎石と布目瓦の一部です）

今回のパトロールを通して、古墳時代から江戸時代までの様々な文化財を見ることができました。長い歴史の中での困難を乗り越えて人々がたくましく生活してきた様子がよくわかりました。